

# 決算補足資料(2024年3月期 第1四半期)

2023年8月3日 / 株式会社 シグマクシス・ホールディングス (証券コード:6088)



# 2024年3月期 第1四半期 決算概況

- 連結売上高50.4億円、経常利益10.8億円。
- コンサルティング事業:産業別では運輸、通信、金融、小売、商社、製造業を中心とした顧客を支援するプロジェクトが事業を牽引。売上は前年同四半期比25%増。
- 投資事業:4月に投資先のプログリットの株式を全て売却。また、その他の投資先の株式を一部売却し、6月末時点の累計投資残高は評価差額を含め約18億円。

単位:百万円	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	対前年同期 増減率	2024年3月期 連結業績予想	業績予想 達成率
連結売上高	3,871	5,045	+30%	19,200	26%
(コンサルティング事業)	3,888 (※)	4,845 (※)	+25%		
(投資事業)	12 (※)	232 (※)	+1,768%		
経常利益	644	1,086	+68%	3,850	28%
(経常利益率)	17%	22%			
四半期純利益	392	930	+137%		
自己資本比率	75%	75%			

※ セグメント間の内部売上高等含む。

# 2024年3月期 第1四半期 連結損益計算書

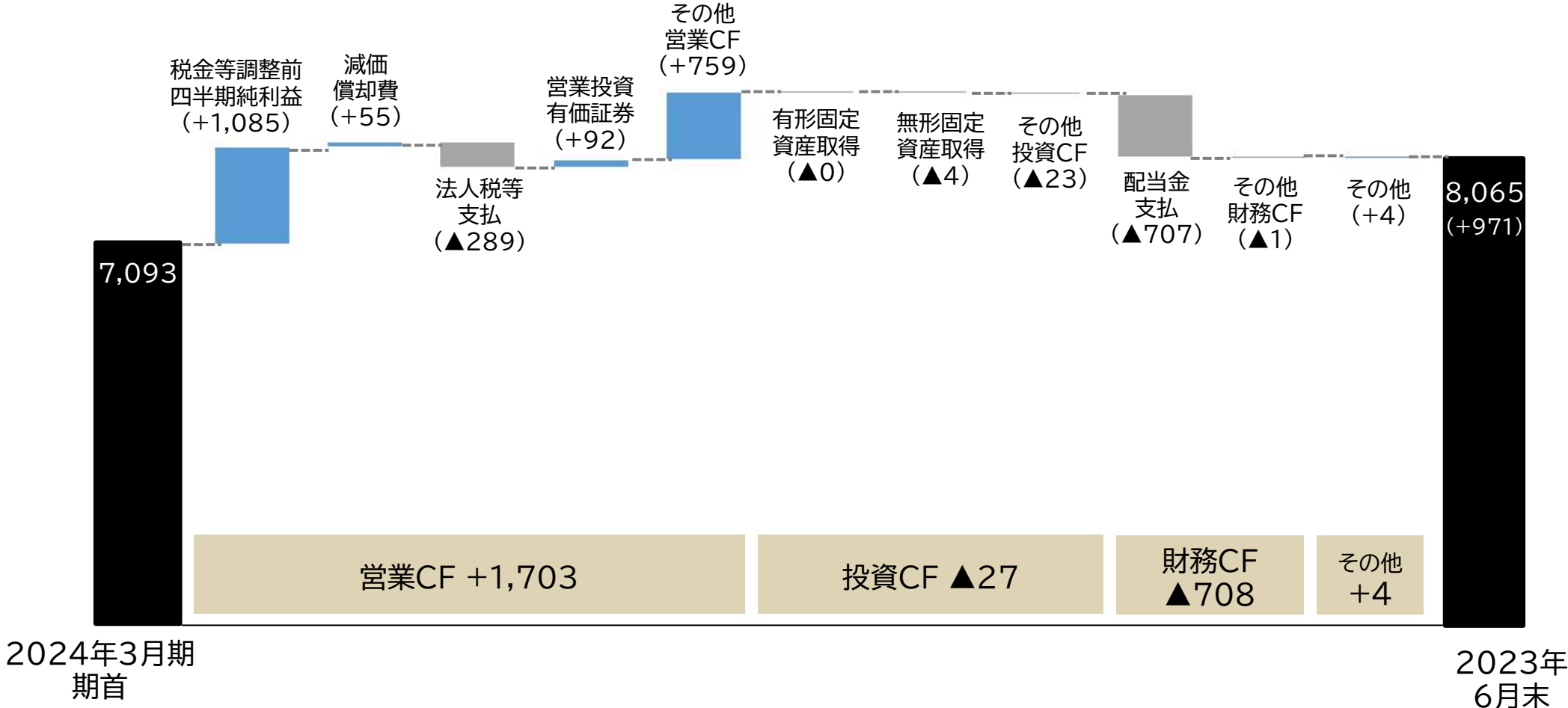
単位:百万円	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	前年同期比		主な増減
			増減額	増減率	
売上高	3,871	5,045	+1,174	+30%	<ul style="list-style-type: none"> <li>外注費の増加</li> <li>売上高の増加</li> <li>対面活動の活発化に伴う諸経費の増加</li> <li>採用費の増加</li> <li>法人税等の減少</li> </ul>
売上原価	1,973	2,545	+572	+29%	
売上総利益	1,897	2,499	+601	+32%	
販管費	1,265	1,423	+157	+12%	
営業利益	631	1,075	+444	+70%	
経常利益	644	1,086	+441	+68%	
税金等調整前 四半期純利益	644	1,085	+441	+68%	
四半期純利益	392	930	+537	+137%	
四半期包括利益	415	774	+359	+86%	

# 2024年3月期 第1四半期 連結貸借対照表

単位:百万円	2023年 3月期末	2024年3月期 第1四半期末	対前期末	主な増減
流動資産	12,013	12,466	+452	・現金及び預金の増加、営業投資有価証券の減少
現金及び預金	7,093	8,065	+971	
固定資産	2,447	2,498	+50	
資産合計	14,461	14,964	+503	
流動負債	1,978	2,834	+855	・買掛金等の増加
固定負債	1,605	889	▲715	
負債合計	3,583	3,723	+139	・借入金無し
純資産	10,878	11,241	+363	
自己資本比率	75%	75%	—	

# 連結キャッシュフローの推移

(単位:百万円)



# 2024年3月期 第1四半期 セグメント別業績 概況

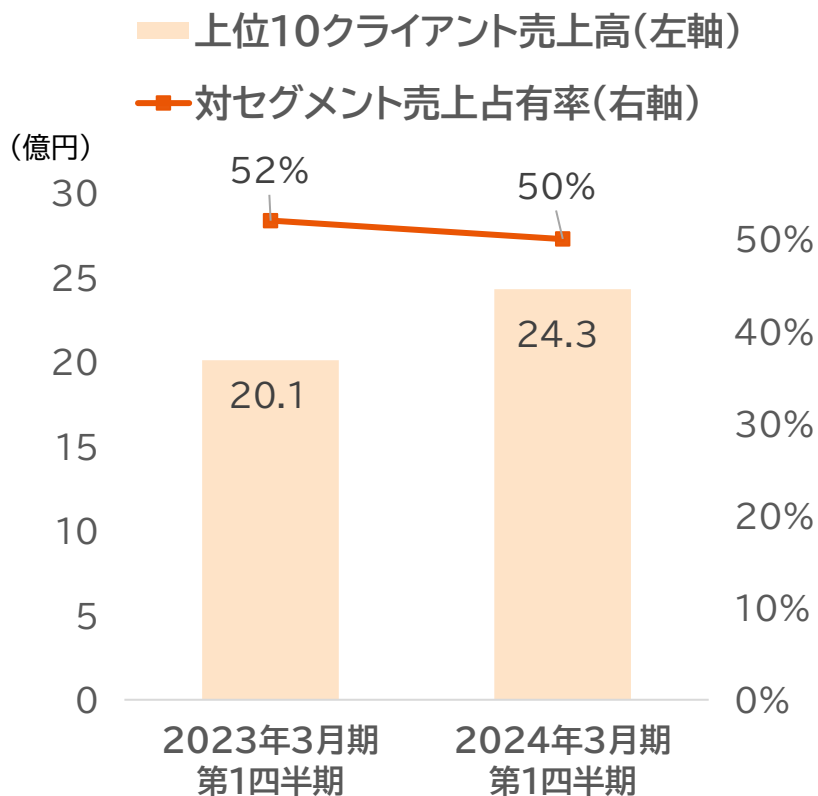
単位:百万円	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
連結売上高	3,871	5,045	+1,174	+30%
（コンサルティング事業）	3,888	4,845	+957	+25%
（投資事業）	12	232	+220	+1,768%
（内部取引）	▲29	▲33	▲3	—
セグメント利益	1,092	1,543	+450	+41%
（コンサルティング事業）	1,158	1,408	+250	+22%
（投資事業）	▲65	134	+200	—
売上高セグメント利益率 <sup>(※)</sup>	28%	30%	—	—
（コンサルティング事業）	30%	29%	—	—
（投資事業）	—	58%	—	—

(※)売上高セグメント利益率は売上高にセグメント間の内部売上高等を含んで算出。

# (参考)セグメント情報

コンサルティング事業は産業別では運輸、通信、金融、小売、商社、製造業を中心とした顧客への基幹システムのSaaS化支援、デジタル・トランスフォーメーション推進支援、新規サービス立上げ支援、各種規制対応支援などのプロジェクトが事業を牽引。投資事業はプログリットの株式を全て売却し、その他投資先の株式を一部売却した結果、評価差額を含む投資残高が6月末時点で約18億円に。

## コンサルティング事業



(参考)  
 (株)シグマックスのプロジェクト数、クライアント数、契約あたり売上

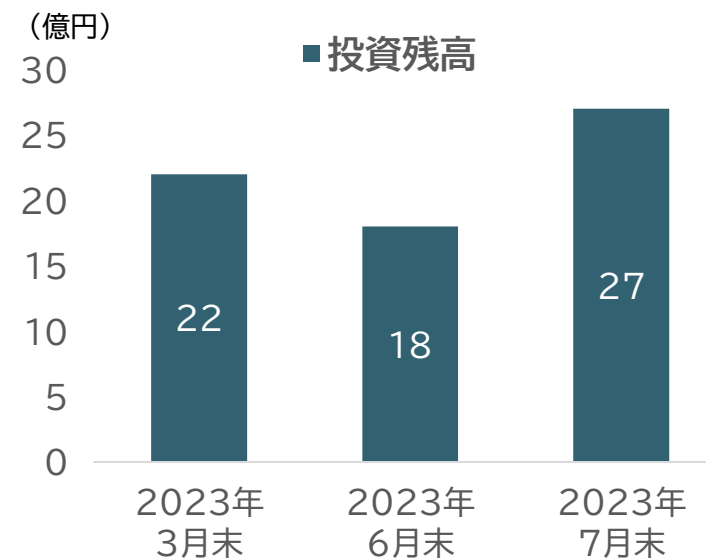
	2023年 3月期 第1四半期	2024年 3月期 第1四半期	対前年 同期比
プロジェクト数*	333	390	+17%
クライアント数**	107	122	+14%
契約あたり 売上 (百万円)	11.3	12.3	+9%

全ての数値はSXA・SXFを除いて集計 (2023年3月期第1四半期の数値も遡及して再集計) しています。

\*プロジェクト数: 連結累計期間を通じて売上が計上されたプロジェクトを契約単位で集計。

\*\*クライアント数: 連結累計期間を通じて売上が計上されたプロジェクトのクライアントを法人単位で名寄せして集計。

## 投資事業



- 全株式売却 1件 (プログリット)  
 その他投資先の株式を一部売却
- 6月末投資残高 約18億円
- 7月に総額約9億円の新規投資

# 国際海上輸送業務でのSaaS活用 ～Fit to Standardを徹底し、業界特化型SaaS「CargoWise」導入支援

商船三井ロジスティクス株式会社様の「国際海上輸送業務でのSaaS活用」の取り組みにおいて、物流業界特化型SaaSの「CargoWise」導入をシグマクシスが支援。



本プロジェクトにおいてシグマクシスは、同社海外現地法人や海外導入パートナーなど、多国籍かつ複数企業のメンバーで構成される体制の中、プログラム・マネジメント・オフィスとして、Fit to Standardを徹底し、プロジェクトを計画通りに推進。



追加開発は行わず、同社は10ヵ月、同社海外現地法人3拠点は7ヵ月で導入し、SaaSによる継続的なソリューションの進化を享受できる事業基盤の実現に貢献した。

当基盤の実現により、今後グローバルでのデータ利活用による業務効率化、国際輸送におけるプレーヤーとのデータ共有が進み、更なる輸送の最適化、生産性向上、コスト削減が期待される。

<参考リンク>

- ・商船三井ロジスティクス: <https://www.mol-logistics-group.com/>
- ・CargoWise: <https://www.cargowise.com/ja-jp/>

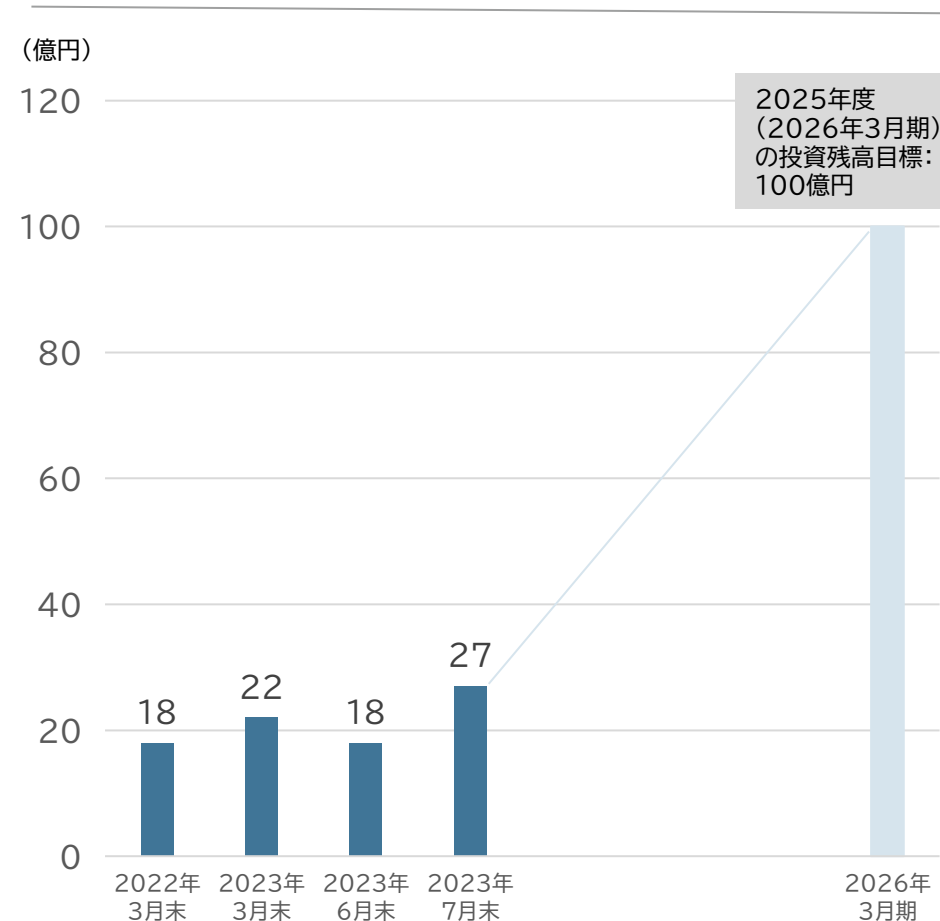


# 投資先企業一覧

- 投資事業は、複数の産業を横断したリジェネラティブ&ウェルビーイング領域を中心に投資。また、投資先に対して、コンサルティングによるバリューアップ支援で企業価値向上をサポート。
- 2023年6月末時点の累計投資残高は約18億円(評価差額を含む)。

出資年	社名	事業内容	備考
2018	ギリア株式会社	AIソリューション	
2019	Creww株式会社	スタートアップコミュニティ運営	
	株式会社モンスターラボホールディングス(東証グロース市場 5255)	デジタルコンサルティング事業 ソフトウェア開発	
2022	自然電力株式会社	国内外での太陽光・風力・小水力等の再生可能エネルギー発電事業等	
	株式会社eWeLL(東証グロース市場 5038)	訪問看護専用電子カルテの業務支援 SaaSの開発・提供	
	フォレストエナジー株式会社	地産地消型の木質バイオマス発電事業	
	株式会社メンタルヘルステクノロジーズ(東証グロース市場 9218)	企業の従業員健康管理に関する各種サービス	
	株式会社ドラEVER	インターネットを利用した運送会社サポートサービスの提供	
2023	GVA TECH株式会社	リーガルテックサービスの開発・提供	2023年7月 新規投資
	株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ	太陽光発電事業、GXソリューション事業等	2023年7月 新規投資

投資残高推移



# 重要業績評価指標(KPI)

	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	対前年同期比
連結売上高 経常利益率	17%	22%	+5%

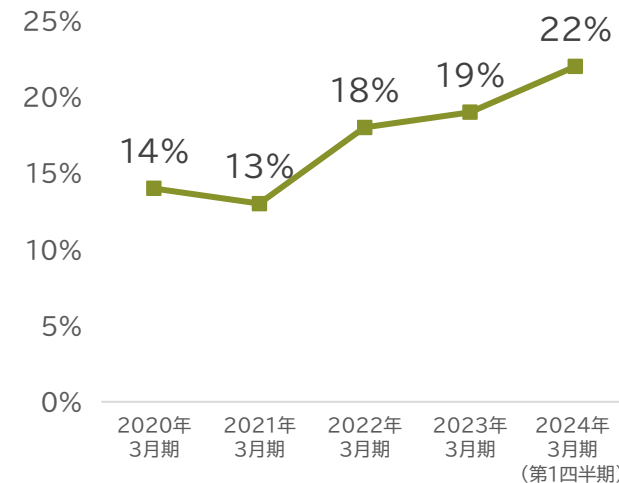
## コンサルティング事業

	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	対前年同期比
コンサルタント数	514	563	+10%
プロジェクト 満足度(NSI*)	96	95	-1pt

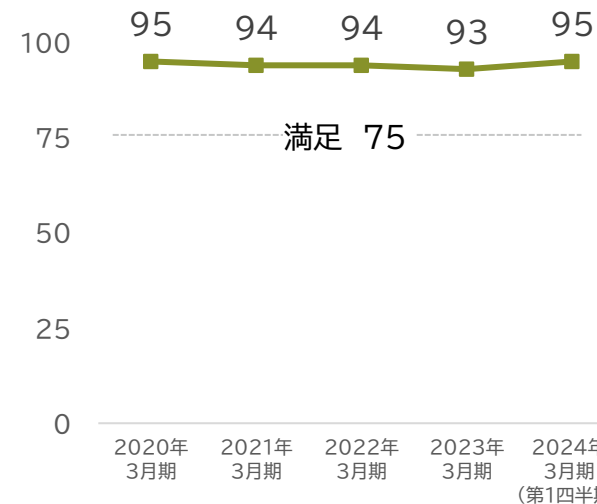
## 投資事業

	2023年3月期末	2024年3月期 第1四半期末	増減
投資残高	約22億円	約18億円	-約4億円

経常利益率推移



プロジェクト満足度推移

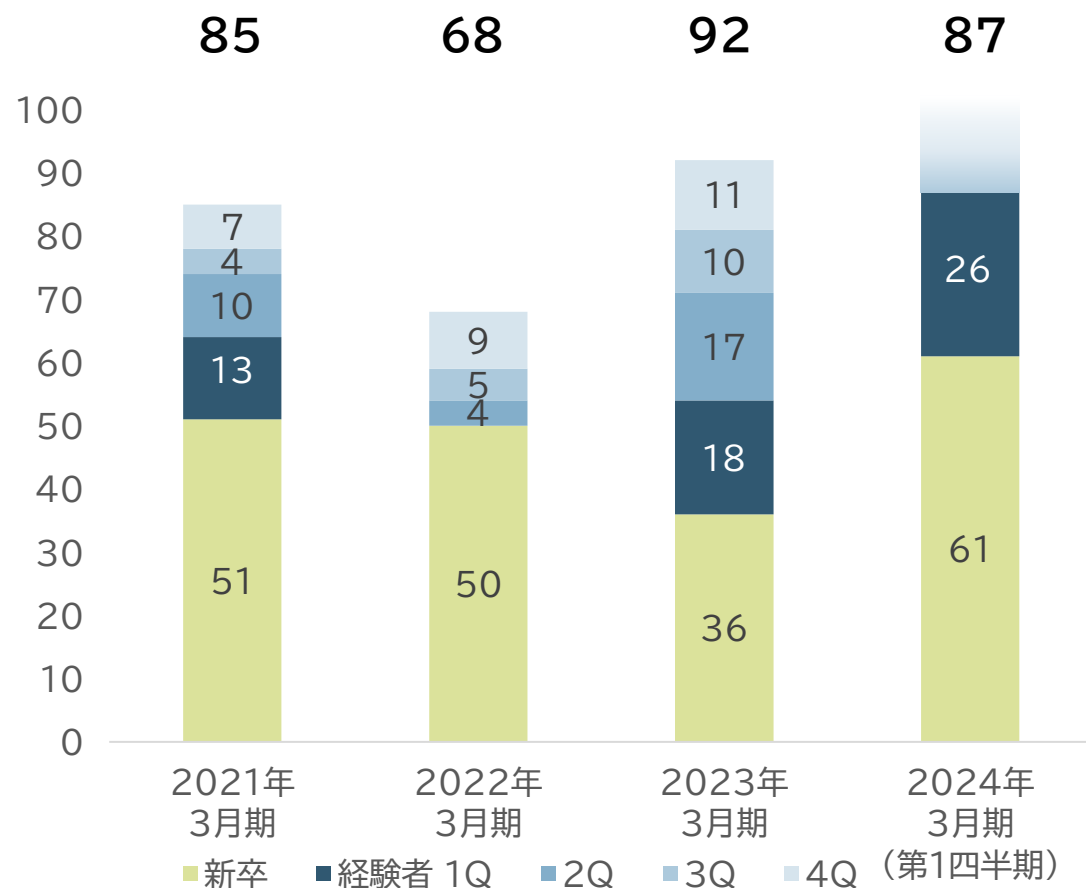


\* NSI(Net Satisfaction Index): プロジェクト満足度評価の各設問五段階評価結果の平均点。クライアントのプロジェクトオーナーにアンケート形式で実施。五段階評価は、5:大満足 100点、4:満足 75点、3:どちらとも言えない 50点、2:不満 25点、1:大不満 0点で配点。

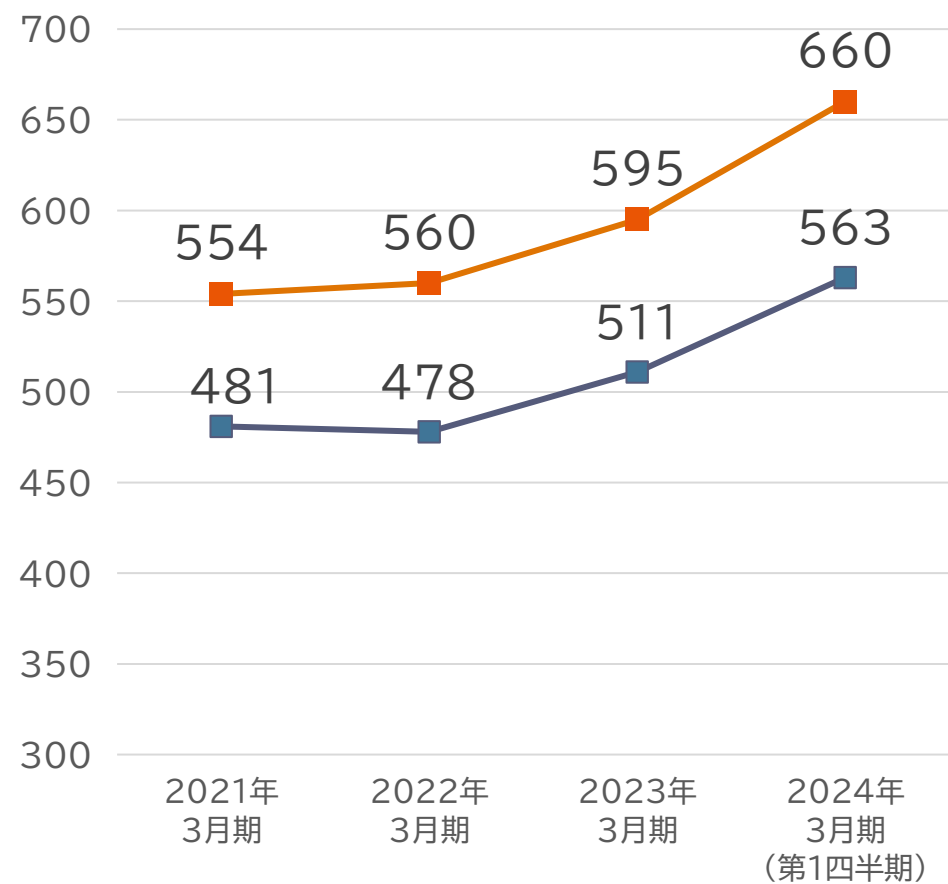
# 採用活動

第1四半期に経験者26名、新卒61名が入社。2024年4月の新卒入社60名程度に向けて内定者数は計画に沿って積みあがっており、経験者とあわせて採用活動は順調に進捗。

年間採用人数(コンサルタント) 単位:人



グループ社員数(■)・コンサルタント数(■) 単位:人



# 能力向上への取り組み

コンサルティング事業と投資事業の連携のもと、様々な産業および企業の価値創造、社会課題を解決する新たな市場や事業の創出を担う人財(**Value Co-Creator**)の育成に向けて、能力カテゴリーを再定義。全社員で能力向上への取り組みを開始。



未来社会へ社内外を束ねて  
新価値を共創する(構想力)

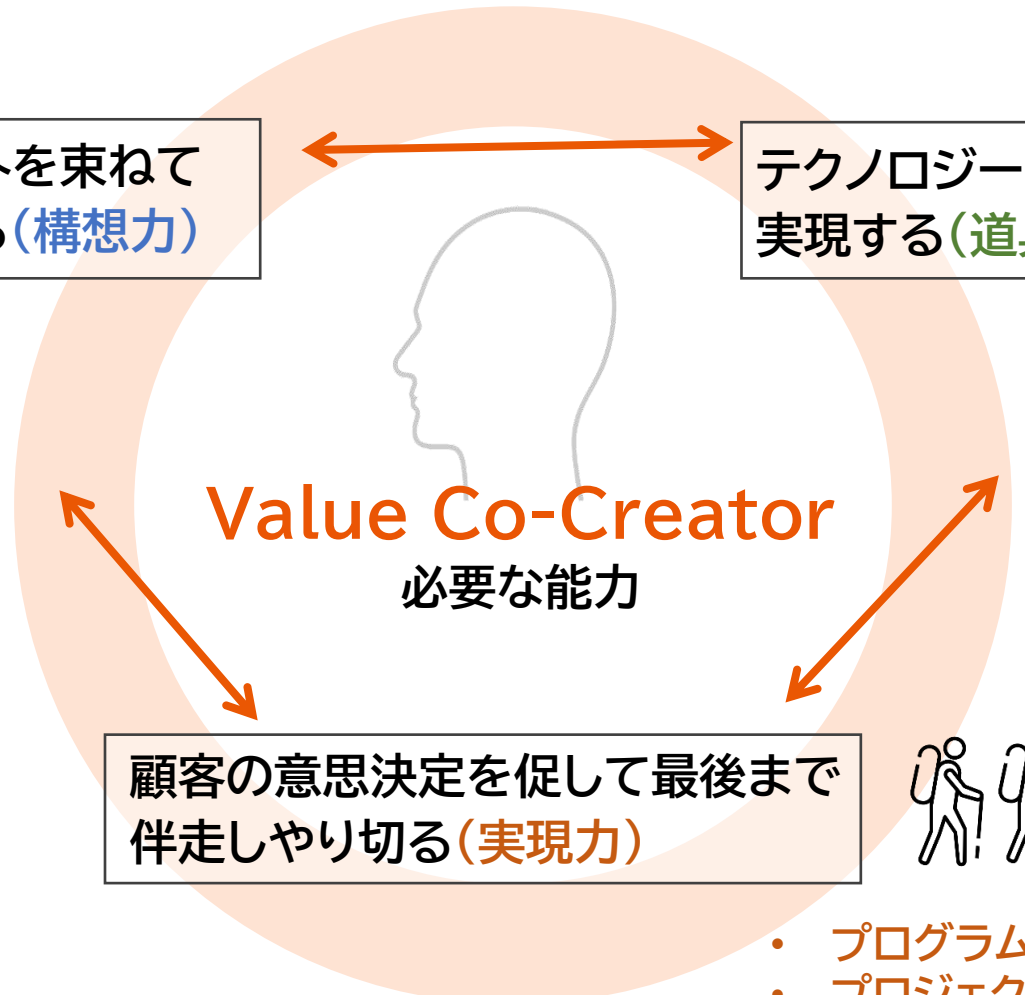
- PoV(Point of View)
- CxOリレーション
- ネットワーキング



テクノロジーを駆使して新価値を  
実現する(道具力)



- 先端テクノロジー
- 基幹系/機能系SaaS



顧客の意思決定を促して最後まで  
伴走しやり切る(実現力)



- プログラム・マネジメント
- プロジェクト・マネジメント

# 6月27日より新執行体制。コンサルティング事業と投資事業のシナジーを強化。



## 太田 寛

株式会社シグマクシス・ホールディングス 代表取締役社長 兼  
株式会社シグマクシス 代表取締役社長

大阪大学基礎工学部卒。1993年日本航空株式会社に入社。1998年プライスウォーターハウスコンサルタン  
ト株式会社入社。流通、製薬、運輸、製造等の幅広い業界に対し、経理財務分野のコンサルティングを実施。  
2009年にシグマクシス(現シグマクシス・ホールディングス)に入社し、複数企業の業務プロセス改革からシス  
テム刷新までの変革プロジェクトを牽引。2021年10月株式会社シグマクシス代表取締役共同代表、2022年  
6月株式会社シグマクシス・ホールディングス取締役に就任。2023年6月より現職。



## 柴沼 俊一

株式会社シグマクシス・ホールディングス 代表取締役副社長 兼  
株式会社シグマクシス・インベストメント 代表取締役社長

東京大学経済学部卒、ペンシルベニア大学経営大学院ウォートンスクール卒。1995年日本銀行入行。経済産  
業省産業政策局に出向。マッキンゼー・アンド・カンパニーを経て国内ファンドの投資先企業再生に携わり、  
2009年にシグマクシス(現シグマクシス・ホールディングス)に入社。事業開発コンサルティングのほか、投資  
責任者としてベンチャー投資、JV、カーブアウト、Pre IPO投資などに従事。2021年4月株式会社シグマクシ  
ス・インベストメント代表取締役社長、2022年6月株式会社シグマクシス・ホールディングス取締役に就任。  
2023年6月より代表取締役副社長。

### <参考リンク>

・新執行体制に関するお知らせ [https://www.sigmaxyz.com/release\\_20230627/](https://www.sigmaxyz.com/release_20230627/)

## 気候変動への取り組み

自社での取り組みに加え、企業のトランスフォーメーション推進等の事業活動を通じ、パートナーとのコラボレーションで貢献

- 地域エネルギーデザインを含む新たな「まちづくり」支援を行っています。長野県小布施町においては次世代型レジリエントタウンの構築、多摩田園都市エリアにおいては東急株式会社とのパートナーシップで、生活者や企業・行政とともに資源循環や地域共助の仕組みづくりに取り組んでいます。
- 投資事業においてはリジェネラティブ&ウェルビーイングを投資領域と位置づけ、価値創造を支援する投資業務を推進しています。再生可能エネルギー分野では自然電力株式会社、フォレストエナジー株式会社への投資と事業支援を行っています。
- 脱炭素専門エネルギー・アナリストのメディア取材やセミナー登壇を通じた情報発信などを行っています。
- コンサルティング事業の株式会社シグマクシスは新経済連盟の『カーボンニュートラルWG(ワーキンググループ)』に参加しています。
- シグマクシス・グループ全体で、社内情報のペーパーレス化を推進しています。また、自社事業所内でのペットボトル飲料提供を完全廃止、事業所の天井照明をLED照明へ全面切り替え、プラスチック素材のクリアフォルダーを紙素材に切り替えるなど、グリーン購入や脱炭素の取り組みを加速しております。

環境関連	2022年 3月期実績	2023年 3月期実績	目標値 (2031年 3月期)	目標値 (2051年 3月期)
温室効果ガス 排出量 (Scope1および2)	148.57t	127.91t	2022年 3月期比 50%削減	実質ゼロ
電気使用量	191,730 kWh	180,590 kWh	-	-
紙使用量	1,080kg	1,360kg	-	-
廃棄物量	5,497kg	6,021kg	-	-
リサイクル量	2,160kg	2,480kg	-	-

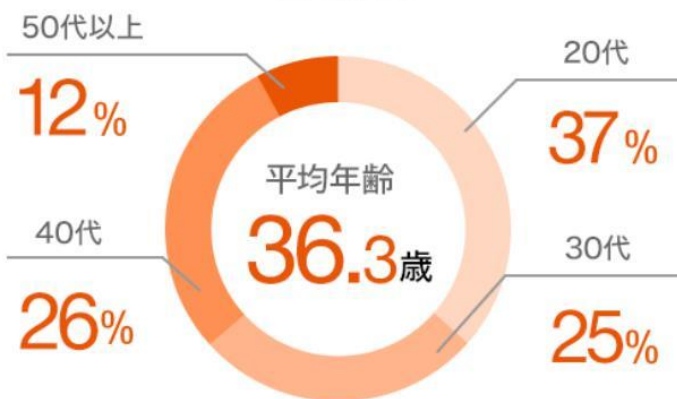


# ダイバーシティがコラボレーションの価値を最大化

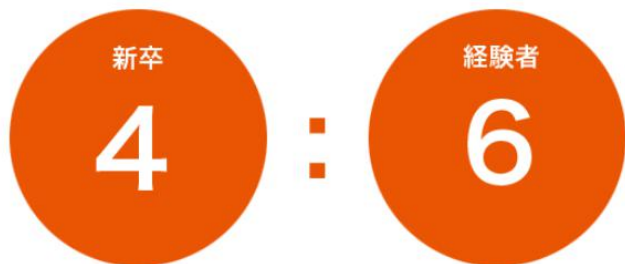
男女比率



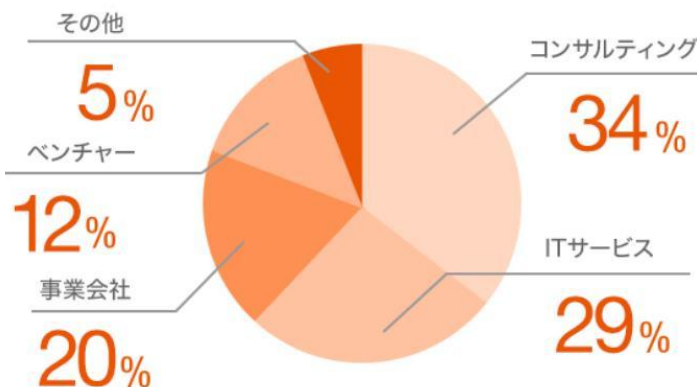
年齢構成比



新卒・中途入社比



経験者採用コンサルのバックグラウンド



人財関連KPI	2023年3月期実績	目標値 (2026年3月期)
女性管理職比率	50名 (20%)	100名 (25%)
中途採用管理職比率	202名 (82%)	320名 (80%維持)
外国人管理職比率	1名 (0.4%)	10名 (2.5%)
育児休暇等取得率	53%	100%
男女間賃金格差 *(株)シグマクシスのみ	73%	83%

\*クラス決定基準および給与基準は男女とも同一

## 所属アスリートによる小中学生向け講演活動 「二條実穂 Dream Power Project」



元プロ車いすテニスプレイヤーでパラリンピアンである二條実穂の地元である北海道の小・中学生を対象にした講演活動。「夢の力」をテーマにした講演や意見交換を通じて、夢を持つことや諦めずに挑戦することが人生の大きな力になることを伝えるとともに、多様性の尊重について共に考え、理解を深める場となることも目指す。

※2023年3月時点(連結)

# 2024年3月期 連結業績予想

2023年6月27日修正

単位:百万円	2023年3月期 実績	2024年3月期 連結業績予想	対前期実績 増減率	2024年3月期 第1四半期実績	進捗率
売上高	17,334	19,200	+11%	5,045	26%
営業利益	3,235	3,850	+19%	1,075	28%
経常利益	3,265	3,850	+18%	1,086	28%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,204	2,900	+32%	930	32%

- 価値共創のための構想提案を実施し、企業のトランスフォーメーション(『3つの変革』)の支援、複数企業間連携による新規事業立ち上げやビジネス機能の共有化支援、ベンチャー企業への投資と事業支援などを推進。
- コンサルティング事業:事業成長のために必要なコンサルタント能力(スキル×人数)の拡充を継続。
- 投資事業:特にエネルギーやヘルスケア分野において、20億から30億円程度の新規投資を計画。過去の投資案件から収益獲得。

(注)連結業績見通しにおいて、投資事業はその事業特性から国内・海外の株式市場並びに新規上場市場の影響を強く受け、収益水準の振幅が大きくなる可能性があります。現時点で把握可能な情報に基づき業績予想を行っております。



# 配当方針

2023年6月27日修正

- 財務体質の強化及び将来の事業展開に備えるために必要な内部留保とのバランスを重視する。
- 安定かつ継続的な配当を行う。

	2023年3月期	2024年3月期 (予想)	対前期増減
年間配当金／一株当たり	16円	22円	+6円

(注)上記の配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって変動する可能性があります。

# (参考) 2025年度〔2026年3月期〕 ありたい姿

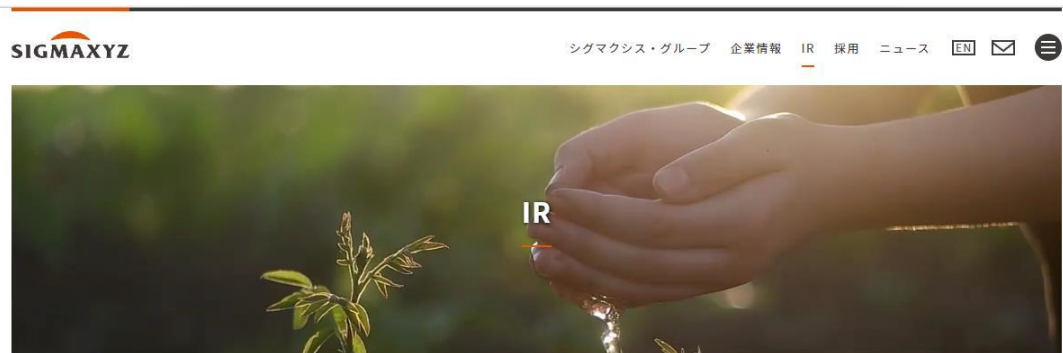
2022年8月公表

	<u>2026年3月期 ありたい姿</u>	<u>2023年3月期 連結業績予想</u>	<u>年平均成長率 (CAGR)</u>
連結売上高	250 億円	172 億円	13%
経常利益	70 億円	32 億円	30%
利益率	28%	19%	-
人員数	約800 名	約600 名	約10%

- 当社グループは、昨今の変化の激しい環境においては、毎年機動的に戦略を見直し、翌年度事業計画に反映していくことが望ましいと考えているため、中期経営計画を策定しておりません。
- 「ありたい姿」は、当社グループの中長期の成長イメージを株主・投資家の皆さまと共有する目的で、数年ごとに参考情報として公表しています。

# (参考)決算補足資料の音声解説

決算発表当日の18時に、本資料の音声解説を弊社ウェブサイトIRページに掲載いたします。



 **最新IR資料**  
2022年3月期 第1四半期決算 (2021年8月4日 発表)

## 最新のIRニュース

IRニュース一覧

2021.10.01	<a href="#">プレスリリース</a>	持株会社体制への移行に関するお知らせ <a href="#">PDF</a>
2021.09.29	<a href="#">お知らせ</a>	「会社四季報2021年4集秋号」 訂正情報

IR情報

[www.sigmaxyz.com/ir/](http://www.sigmaxyz.com/ir/)



## 本資料の取り扱いについて

本資料は、シグマクシス・グループの事業および業界動向に加えて、現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性がつきまっています。すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社シグマクシス・ホールディングスは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、本資料作成時点において利用可能な情報に基づいて、株式会社シグマクシス・ホールディングスによりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

URL: [www.sigmaxyz.com](http://www.sigmaxyz.com)  
問い合わせ先: [sigmaxyz\\_ir@sigmaxyz.com](mailto:sigmaxyz_ir@sigmaxyz.com)

